

大阪府日中友好協会忘年会に参加して

報告者：見本重宏

12月15日、太閤園で開催された忘年会に出席し、新しく副総領事として着任した孫忠宝氏(写真：右から2番目)と約12年ぶりに再会しました。孫氏は、2002年「日中国交正常化30年を祝った温泉旅行」に王泰平総領事(当事、劉毅仁氏は副総領事)氏に同行され、一緒に温泉に浸かった仲です。



中国総領事館来賓5名

来年2月に計画している「日中友好と交流の集い」(別名：日中伝統の美食の饗宴)について、孫副総領事の下で具体的な内容を詰め、2月春節休暇明けの適切な日を選び、1月17日新年会当日に発表する運びとなりました。



さて、忘年会最初はシルロード・ローラン歌舞団による歌・踊り更に新疆ウイグル自治区の紹介もあり、最後は出席者と共に乱舞する場面もあり、華やかな雰囲気で開催されました。

その後の懇親会で谷井会長は、両国の日中友好協会が主催する「第14回日中友好交流会議」が9月大阪にて400名

規模で開催した事、大きな自信となり「民間交流の新たな高まり」に向けより一層努力することを述べられました。劉毅仁総領事は、APECで両国首脳会談が実現できたこと及びその前に政府間で「4項目合意」ができたことが、両国関係好転への転換点になることと共に、更なる民間友好活動の必要性を訴え、大阪府日中友好協会への期待を述べられました。



終戦70年を迎える平成27年、日中両国間では価値観や体制が異なり、双方で感情的ナショナリズムが高揚する事態も予測されます。我々民間では、長期的な視野に立ち、冷静にお互いを良く知り、蔑視ではなく尊敬し、議論は徹底的に行い互い譲る所は譲り合い、一致点を見出し双方の利益の共有関係を一層強固にする活動により平和的未来が開かれると思います。

微力ながら、大阪府日中友好協会の皆様と共に頑張ることを心して帰途につきました。

